

R4-04 外部機関と連携した防犯教室及び教職員向け不審者対応の取組

- 管内 十勝管内
- 分類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 外部講師を招聘した防犯教室の実施
- 外部機関と連携した教職員向け不審者対応の取組
- 実技演習等を交えた実効性の高い不審者対応の充実

取組の実際

ねらい

- 外部講師を招聘した防犯教室を通して、見知らぬ人に声を掛けられたときの対応や不審者を見かけたときの対応などについて、理解を深める。
- 外部講師を招聘した教職員向け不審者対応研修を通して、学校に不審者が侵入した際の対応について、理解を深める。

内容

1 警察と連携した教職員向け及び児童向けの不審者対応の充実

年1回、警察署員を講師に招聘し、教職員向けの不審者対応研修を実施している。事前に生活指導部を中心とし、全教職員を対象とした危機管理マニュアルの見直しや対応フローの確認等の研修を行い、後日、警察署員による実技研修を通して、学校に不審者が侵入してきた場合を想定し、児童の命を最優先に考えた避難方法や、さすまたを使って不審者の動きを封じる方法など、実践的な内容の訓練を行った。

また、上記不審者対応研修と連動し、児童向けの不審者侵入避難訓練も実施している。避難経路や避難方法について警察署員に指導いただき、児童は地震や火災などの災害時における避難方法との違いや、自身の命を守る行動について、考えを深めた。



【さすまた演習】



【護身術演習】



【避難訓練後の振り返りの様子】

2 関係機関と連携した児童向け防犯教室の取組

警察や民間企業と連携し、年に1回の防犯教室を実施している。今年度は警察署の方を外部講師として招聘し、下校時や放課後等に不審者と遭遇した際の身の守り方について理解を深める防犯教室を行った。日常生活において不審者に遭遇しそうな状況や場面について考えるとともに、不審者に遭遇した場合の避難方法などについて、実技演習を交えて危機意識を高めた。



【防犯教室の様子】

成果と課題

- 外部講師を招聘した専門性の高い講義及び身の守り方についての演習を通して、児童及び教職員の防犯意識が高まるとともに、自分の身の守り方についての理解が深まった。
- 今後、更なる具体場面を想定した演習を行い、児童と教職員が共に危機管理意識を高める取組の充実を図る必要がある。